

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名 農業技術センター足柄地区事務所
要望問題名 シキミの葉に発生する輪紋症の防除法	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 シキミの葉に発生する退色斑は、輪紋症、紋々症などと呼ばれ、管内産地でも発生している。 近年の報告で退色斑の発生はフシダニ類との関連が示唆され、フシダニ科であるサビダニ類の防除に対し登録がなされた薬剤がある。しかしフシダニ類の生態と輪紋症の発生過程が不明であること、シキミの栽培期間に対し散布可能な薬剤数が少ないことなどで、退色斑の発生は治まっていない。 退色斑の発生を抑えるため、本県でのシキミ葉の退色斑とフシダニ類との関連性を確認し、有効な防除法を見いだして頂きたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	農業環境研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	シキミ輪紋病については多くの試験研究機関がこれまでに試験研究を行ってきましたが、シキミ輪紋病とサビダニ類寄生の両者の明確な因果関係は立証できておらず、またシキミ上で今迄に見つかったサビダニ類の種同定すら行えていないのが現状です。 現在のところシキミのサビダニ類への農薬としてはマシン油乳剤とテブフェンピラド乳剤が登録されています。適切な時期にサビダニ防除を行うことで輪紋病が軽減できる可能性があることから、現地シキミほ場においてこれら薬剤の散布についてご指導願います。適切な散布タイミングの検討や効果程度調査につきましてはご協力致します。 またシキミ輪紋病は他県産地でも問題となっており、他県試験研究機関でも対策が進められております。これら研究機関等からの最新防除情報についても入手次第お繋ぎ致します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			